

別冊参考資料編(案)

【別冊参考資料目次】

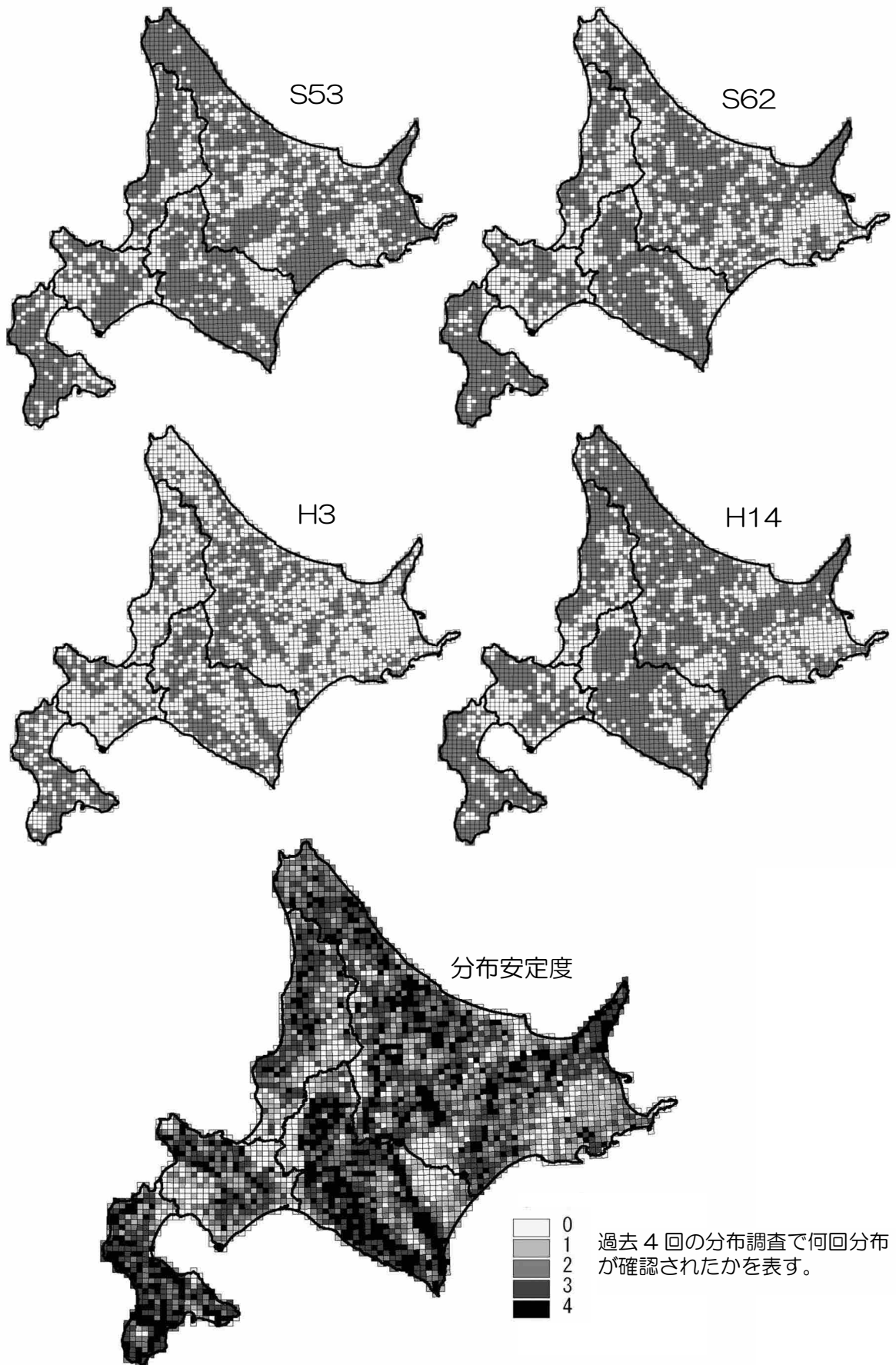
- 資料1 計画対象地域の地域区分
- 資料2 ヒグマ個体数管理について（令和3年8月公表）
- 資料3 ヒグマによる人身被害及び農業被害の状況
- 資料4 ヒグマの捕獲数
- 資料5 ヒグマ出没時の対応方針
- 資料6 地域における危機管理体制の目指すべき姿（概念図）
- 資料7 年代別狩猟免許所持者数の推移

計画対象地域の地域区分



地域		(総合)振興局	市 町 村 () は一部地域のみが含まれる市町村
①渡島半島		後志	島牧村、寿都町、黒松内町
		渡島	函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町
		檜山	江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、今金町、せたな町
②積丹・恵庭		石狩	札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市
		後志	小樽市、蘭越町、二セコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町、共和町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村
		胆振	室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、白老町、洞爺湖町
③天塩・増毛		空知	深川市、月形町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町
		石狩	石狩市、当別町、新篠津村
		上川	幌加内町、鷹栖町、和寒町、剣淵町、中川町、(旭川市)、(士別市)、(名寄市)、(比布町)、(美深町)、(音威子府村)
④道東・宗谷	a西部	留萌	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町
		上川	旭川市、士別市、名寄市、富良野市、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、下川町、美深町、音威子府村、(和寒町)、(剣淵町)、(中川町)
		宗谷	稚内市、幌延町、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町
	b東部	林-ㇿ	北見市、紋別市、置戸町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町
		十勝	音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、(足寄町)、陸別町
		林-ㇿ	網走市、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、訓子府町、佐呂間町、大空町 (北見市)、(遠軽町)、(湧別町)
⑤日高・夕張		十勝	池田町、本別町、足寄町、(陸別町)、浦幌町
		釧路	釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町
		根室	根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町
		空知	夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、赤平市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、南幌町、奈井江町、上砂川町、由仁町、長沼町、栗山町、(深川市)
		胆振	厚真町、安平町、むかわ町
	日高	日高町、平取町、新冠町、浦河町、様似町、えりも町、新ひだか町	
	上川	占冠村、(旭川市)、(富良野市)、(美瑛町)、(上富良野町)、(中富良野町)、(南富良野町)	
	十勝	帯広市、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、豊頃町、(新得町)	

ヒグマの分布域の推移

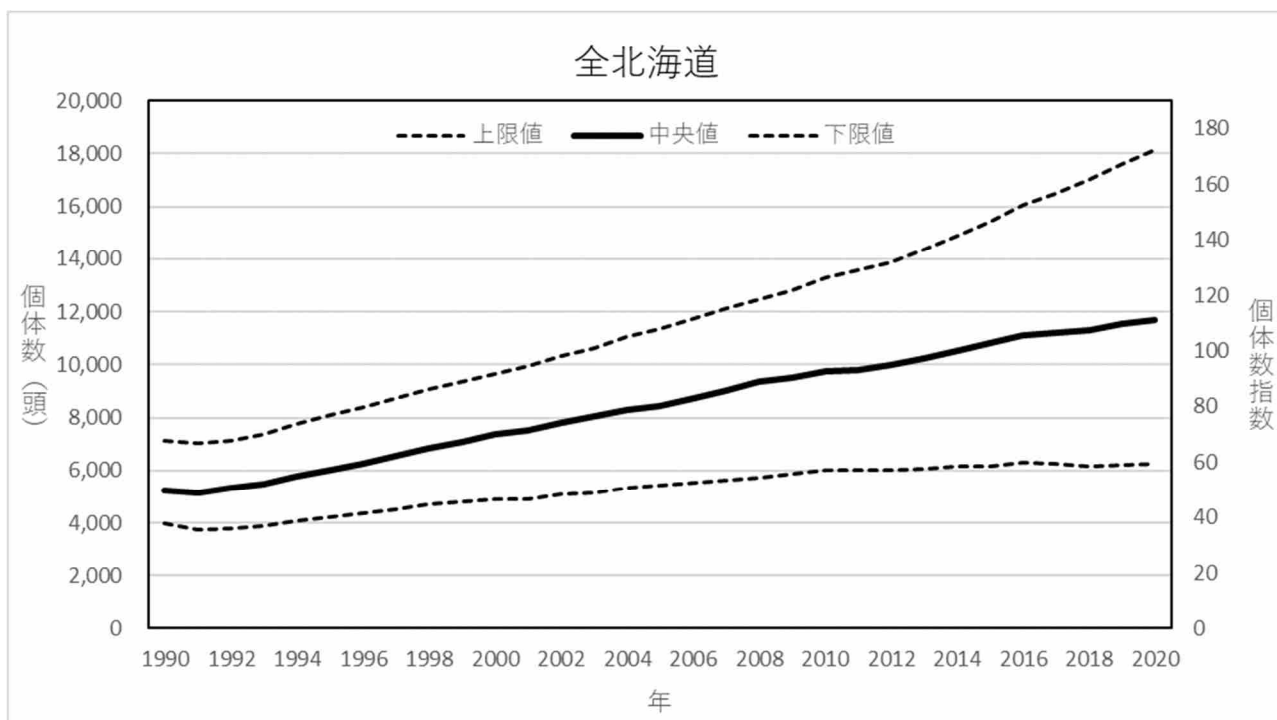


※上記図面については、島嶼部は省略しています。

【ヒグマ個体数管理について】

1 個体数指数の推定

- (1) 道では、「北海道ヒグマ管理計画（平成29年3月）」に基づき、蓄積された科学的データや生息密度調査等に基づくコンピュータシミュレーションにより、全道のヒグマ個体数指数を推定した。
- (2) 平成26年度（2014年度）現在の全道個体数指数水準を100としたときに、令和2年度（2020年度）の個体数指数は111となり、全道のヒグマ個体数は概ね継続して増加傾向にあった可能性が高く、令和2年度（2020年度）までの6年間に中央値で10%程度増加したものと考えられる。
- (3) 令和2年度（2020年度）の全道のヒグマ個体数を示すと、中央値11,700頭と推定された。



●令和2年度（2020年度）計算

推定年度	平成26年度（2014年度）		令和2年度（2020年度）	
	中央値	95%信用区間	中央値	95%信用区間
全道 (頭数)	10,500	(6,700~15,900)	11,700	(6,600~19,300)
個体数 指数	100		111	

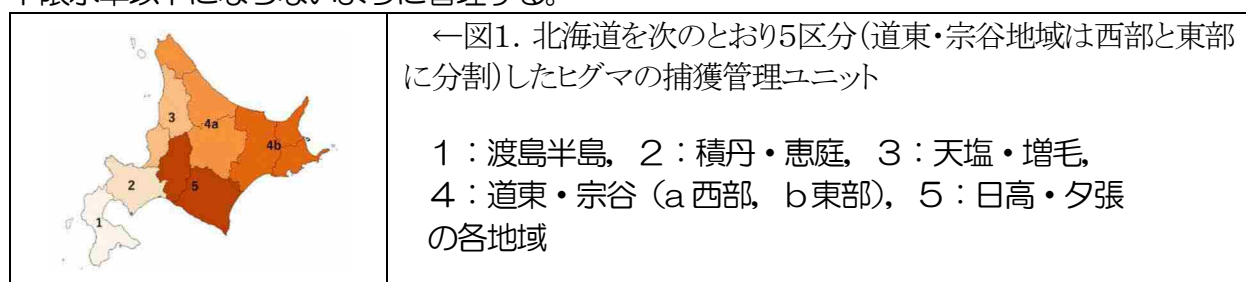
2 指数管理における個体数水準の考え方

野生生物の生息数を正確に求めることは出来ないため、現状では、ヘアトラップ法によるデータや捕獲情報などによる実測数に統計的確率を乗じ、推定生息数として算出している。

統計的推定手法を用いて算出される数字は、その信頼性にある程度の幅を持ち、また、推定生息数を議論する際、絶対数（＝頭数）で過去からの変化を比較しようとする、推定時のデータ数の違いを踏まえ毎回、補正する手間が生じることから、道では、データの連続性を確保するため、個体数管理に当たり個体数指数を用いている。

なお、推定生息数の95%信用区間は、データ数が多いほど精度が上がり、狭くなる。令和2年(2020年)現在の各地域における、予防水準(c)と許容下限水準(d)の指数は表1のようになった。

道東・宗谷地域については、対象面積が広大であることから、西部(大雪山系以北)と東部(阿寒白糠以東)の2つに分けて指数管理を行う。なお、個体数水準によって、予防水準指数及び許容下限水準指数の数値は地域毎に異なり、地域毎に個体数の動向をモニタリングしながら、許容下限水準以下にならないように管理する。



【表1 令和2年(2020年)時点の個体数と平成26年(2014年)時点を100としたときの管理指数】

地域名	個体数 中央値 (H26) 頭数	個体数 中央値 (R2) 頭数	指 数			
			基準(a) (H26)	現行水準(b) (R2)	予防水準(c) ※2	許容下限 水準(d) ※3
① 渡島半島	1,680	1,840	100	110	24	12
② 積丹・恵庭	590	760	100	127	67	34
③ 天塩・増毛	670	850	100	126	59	30
④ 道東・宗谷	4,170	3,980	—	—	—	—
a 西部	2,600	2,330	100	90	15	8
b 東部※1	1,570	1,650	100	105	25	13
⑤ 日高・夕張	3,420	4,260	100	125	10	5

(※1) ④道東・宗谷b東部には、知床半島ヒグマ管理計画による対象地域を含む。

(※2) H26の個体数(中央値)を基準に、絶滅のおそれが高まることを予防する個体数(400頭)に対応するとされる個体数指数水準

(※3) H26の個体数(中央値)を基準に、遺伝的多様性の維持及び健全な個体群の存続に必要な個体数(200頭)に対応するとされる個体数指数水準

【解説】

H26の個体数(中央値)指数を基準(100)として、R2の個体数(中央値)指数は、概ね上昇傾向を示していることがわかる。基本的に各地域とも予防水準(c)指数以下にならないように地域毎に個体数指数の動向をモニタリングしながら管理を行う。

表2. 地域別2020年末時点における推定個体数一覧(2020オホーツク西部道有林密度による計算) . Nは中央値

地域名	動向*	メス			オス			合計		
		95%LL**	N	95%UL**	95%LL**	N	95%UL**	95%LL**	N	95%UL**
1 渡島半島	増加	996	1,297	1,653	305	545	888	1,301	1,843	2,542
2 積丹・恵庭	増加	218	419	717	143	338	661	361	757	1,378
3 天塩・増毛	増加	254	475	797	165	378	722	420	852	1,519
4a 道東・宗谷西部	増加	1,137	1,613	2,207	315	718	1,373	1,452	2,331	3,580
4b 道東・宗谷東部	増加	561	979	1,565	293	675	1,298	855	1,653	2,863
5 日高・夕張	増加	1,437	2,537	4,109	748	1,723	3,316	2,185	4,260	7,425
全道合計		4,604	7,320	11,048	1,970	4,376	8,258	6,574	11,696	19,307

*計算機実験に当たり仮定した生息数の1990年から2020年までの動向

**ガンマ分布に近似して信頼幅を算出

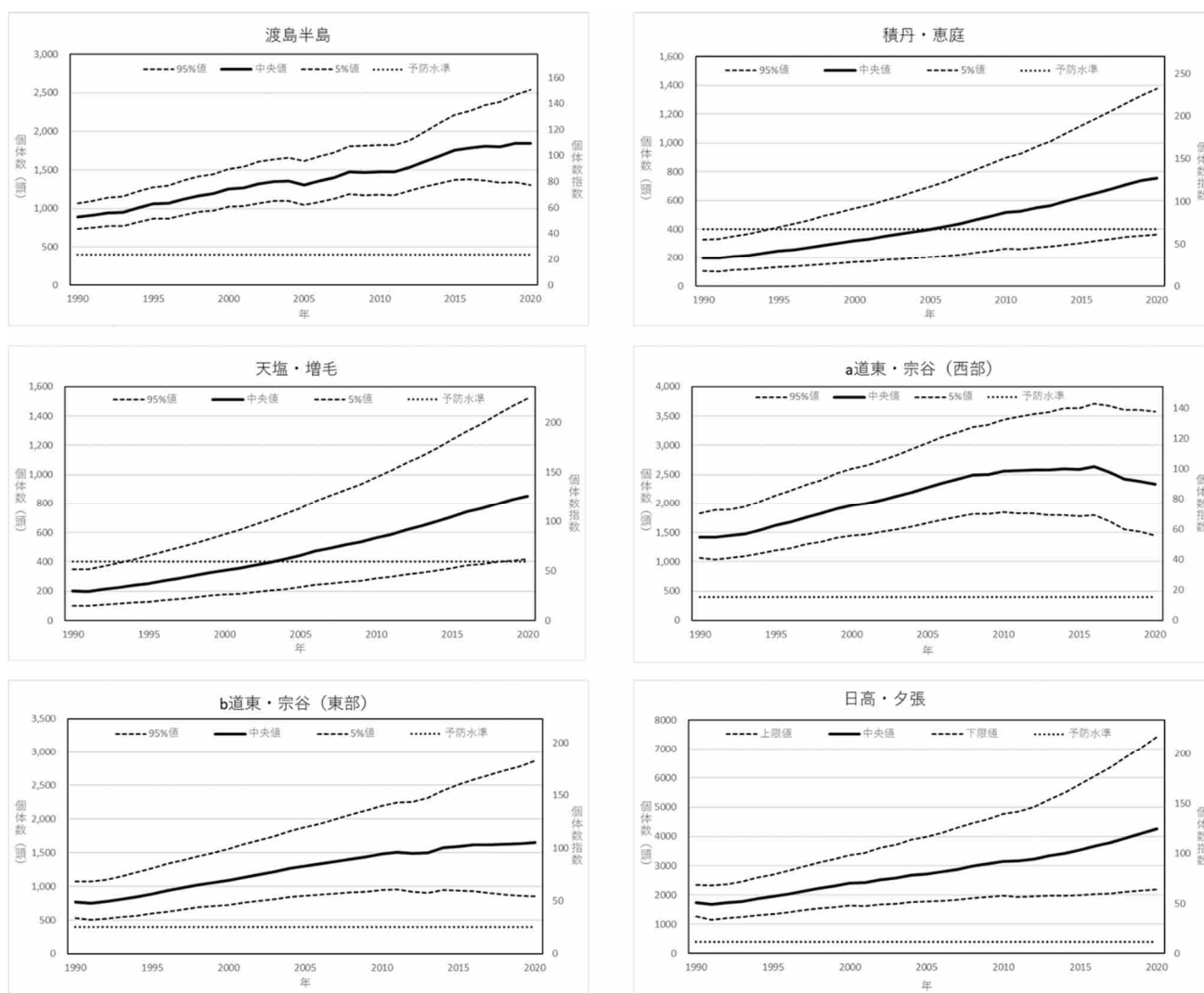
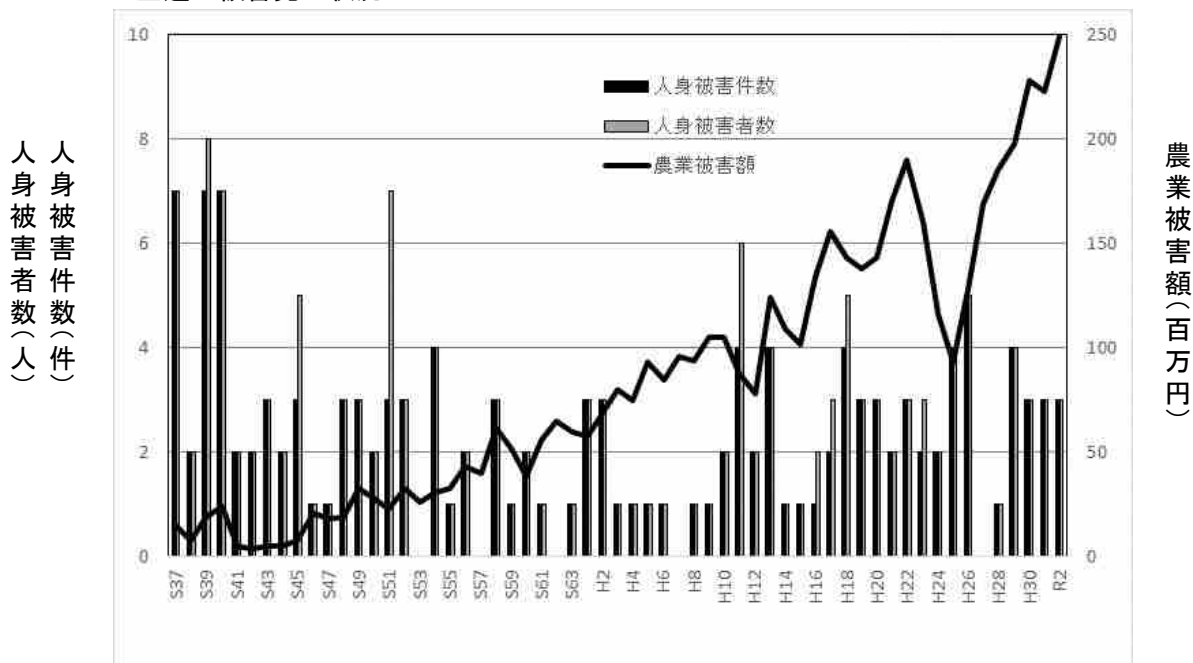


図2 各地域個体群の平成2年度(1990年度)～令和2年度(2020年度)の推定生息数の推移。

ヒゲマによる人身被害及び農業被害の状況

資料3

全道の被害発生状況



年度	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56
人身被害件数	7	2	7	7	2	2	3	2	3	1	1	3	3	2	3	3	0	4	1	2
人身被害者数	7	2	8	7	2	2	3	2	5	1	1	3	3	2	7	3	0	4	1	2
農業被害額	15	8	19	24	5	4	5	5	8	21	18	19	33	28	23	33	26	31	33	43

年度	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
人身被害件数	0	3	1	2	1	0	1	3	3	1	1	1	1	0	1	1	2	4	2	4
人身被害者数	0	3	1	2	1	0	1	3	3	1	1	1	1	0	1	1	2	6	2	4
農業被害額	40	62	52	39	56	65	60	58	69	80	75	93	85	96	94	105	105	88	78	124

年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
人身被害件数	1	1	1	2	4	3	3	2	3	2	2	4	5	0	1	4	3	3	3
人身被害者数	1	1	2	3	5	3	3	2	3	3	2	4	5	0	1	4	3	3	3
農業被害額	109	102	134	156	143	138	143	170	190	160	116	93	128	169	185	198	228	223	249

ヒグマによる人身事故(昭和37年以降)

年度	件数	死者	負傷者	死傷者	発生年月日	振興局	市町村	活動内容	性別	年齢	被害程度	加害個体
S37	7	3	4	7	1962. 10. 8	網走	雄武町	造材作業	男	53歳	負傷	子連れ
					1962. 9. 24	根室	標津町	クマ駆除	男	73歳	死亡	
					1962. 10. 10	根室	標津町	クマ駆除	男	40歳	負傷	
					1962. 10. 19	根室	標津町	クマ駆除	男	51歳	死亡	雄6歳
					1962. 10. 20	十勝	浦幌町	クマ駆除	男	71歳	死亡	
					1962. 10. 25	檜山	北檜山町	放牧点検	女	19歳	重傷	
S38	2	1	1	2	1962. 11. 1	日高	浦河町	帰宅途中	男	61歳	重傷	
					1963. 8. 9	宗谷	猿払村	牧場作業	女	34歳	死亡	雄5歳
S39	7	5	3	8	1963. 8. 11	宗谷	浜頓別町	牧場点検	男	59歳	重傷	雄6歳
					1964. 7. 20	上川	上川町	登山	男	50歳	死亡	
					1964. 9. 9	日高	平取町	登校中	女	11歳	死亡	
					1964. 9. 23	上川	上富良野町	農作業中	女	52歳	重傷	
					1964. 9. 25	石狩	札幌市	登山	男	24歳	死亡	
					1964. 9. 30	網走	白滝村	クマ駆除	男	64歳	死亡	
									男	27歳	重傷	
									男	46歳	死亡	
S40	7	3	4	7	1964. 10. 25	日高	静内町	クマ狩猟	男	44歳	重傷	雄6歳
					1965. 4. 24	上川	愛別町	クマ駆除	男	44歳	重傷	
					1965. 4. 25	留萌	初山別村	クマ駆除	男	57歳	軽傷	
					1965. 5. 1	上川	下川町	クマ駆除	男	46歳	死亡	
					1965. 8. 5	宗谷	猿払村	歩行中	女	65歳	重傷	
					1965. 8. 22	宗谷	猿払村	飯場へ行く途中	男	52歳	死亡	
					1965. 9. 29	渡島	楸法華村	農作業中	女	57歳	負傷	2~3歳
S41	2	0	2	2	1965. 11. 6	網走	清里町	クマ駆除	男	57歳	死亡	2歳
					1966. 5. 3	留萌	小平町	クマ駆除	男	50歳	重傷	10歳上
S42	2	1	1	2	1966. 10. 13	檜山	北檜山町	牧場作業	男	34歳	重傷	2歳前後
					1967. 4. 19	宗谷	猿払村	クマ駆除	男	43歳	重傷	5~6歳
S43	3	2	1	3	1967. 5. 10	後志	島牧村	農作業中	女	37歳	死亡	
					1968. 6. 2	上川	南富良野町	川釣り	男	24歳	死亡	雄8歳
					1968. 11. 18	胆振	穂別町	クマ狩猟	男	65歳	死亡	5~6歳
S44	2	2	0	2	1968. 11. 21	胆振	穂別町	クマ狩猟	男	64歳	重傷	雄6歳
					1969. 4. 20	上川	南富良野町	造材場で昼食中	男	56歳	死亡	雄6歳
S45	3	4	1	5	1969. 8. 28	石狩	千歳市	果実採取	女	78歳	死亡	雌4~5歳
					1970. 7. 26	十勝	中札内村	縦走登山	男	18歳	死亡	
					1970. 7. 27				男	19歳	死亡	
					1970. 7. 27	上川	士別市	笹刈り作業	男	20歳	死亡	
S46	1	1	0	1	1970. 12. 5	渡島	八雲町	クマ追跡中	男	75歳	負傷	3~4歳
S47	1	0	1	1	1971. 11. 4	網走	滝上町	クマ追跡中	男	49歳	死亡	
					1972. 4. 6	上川	美深町	春クマ駆除	男	69歳	死亡	雄12歳
S48	3	2	1	3	1972. 4. 1	上川	美深町	クマ駆除	男	41歳	重傷	
					1973. 5. 2	石狩	当別町	手負クマ追跡中	男	54歳	重傷	
					1973. 5. 6	渡島	木古内町	山菜採り	男	50歳	死亡	雄7~8歳
S49	3	1	2	3	1973. 9. 17	檜山	厚沢部町	造林作業中	男	45歳	死亡	
					1974. 5. 30	檜山	上ノ国町	クマ駆除	男	44歳	負傷	
					1974. 8. 16	網走	留辺蘂町	クマ駆除	男	46歳	重傷	
S50	2	0	2	2	1974. 11. 11	網走	斜里町	クマ狩猟	男	37歳	死亡	
					1975. 4. 8	渡島	長万部町	林内作業中	男	54歳	負傷	
S51	3	3	4	7	1975. 7. 1	十勝	浦幌町	林内作業中	女	40歳	負傷	
					1976. 6. 4			山林作業	男	56歳	負傷	
					1976. 6. 5				男	53歳	負傷	
					1976. 6. 9	石狩	千歳市	山菜採り	男	58歳	死亡	雌4歳
									男	54歳	死亡	
									男	26歳	負傷	
S52	3	2	1	3	1976. 12. 2	上川	下川町	林内作業	男	56歳	死亡	雌12~3歳
					1977. 3. 31	空知	三笠市	林内作業	男	45歳	負傷	雄6歳
					1977. 4. 7	網走	滝上町	林内作業	男	39歳	負傷	4歳位
S53	なし				1977. 5. 27	檜山	大成町	山菜採り	男	55歳	死亡	
					1977. 9. 24	檜山	大成町	川釣り	男	36歳	死亡	雌6歳
S54	4	1	3	4	1979. 4. 26	宗谷	枝幸町	春グマ駆除	男	69歳	重傷	雌
					1979. 6. 14	上川	富良野市	山菜採り	男	38歳	死亡	
					1979. 9. 28	檜山	江差町	林内作業	男	79歳	軽傷	
					1980. 2. 25	網走	留辺蘂町	林内作業	男	50歳	重傷	雌6~7歳
S55	1	0	1	1	1980. 10. 27	根室	羅臼町	クマ駆除	男	57歳	重傷	雌
S56	2	0	2	2	1981. 5. 15	胆振	穂別町	山菜採り	男	45歳	負傷	雌
					1981. 8. 18	日高	えりも町	クマ駆除	男	38歳	負傷	雌
S57	なし											
S58	3	0	3	3	1983. 5. 19	網走	置戸町	測量作業	男	34歳	重傷	雄5歳
					1983. 6. 4	後志	島牧村	山菜採り	男	48歳	重傷	
					1983. 7. 11	渡島	八雲町	土木工事	男	37歳	負傷	
S59	1	0	1	1	1984. 8. 30	十勝	広尾町	林内作業	男	49歳	軽傷	雌

ヒグマによる人身事故(昭和37年以降)

年度	件数	死者	負傷者	死傷者	発生年月日	振興局	市町村	活動内容	性別	年齢	被害程度	加害個体
S60	2	1	1	2	1985. 4. 22	根室	羅臼町	春グマ駆除	男	62歳	死亡	
					1985. 7. 16	渡島	福島町	農作業	女	59歳	負傷	
S61	1	0	1	1	1986. 8. 30	網走	斜里町	漁場巡視	男	59歳	負傷	雌
S62	なし											
S63	1	0	1	1	1988. 7. 6	網走	生田原町	林内作業	男	44歳	軽傷	
H元	3	0	3	3	1989. 11. 15	十勝	広尾町	シカ狩猟	男	51歳	重傷	雌5~6歳
					1989. 11. 25	釧路	弟子屈町	シカ狩猟	男	40歳	重傷	雌
					1990. 3. 7	空知	芦別市	林内作業	男	52歳	軽傷	
H2	3	2	1	3	1990. 9. 21	渡島	森町	山菜採り	男	75歳	死亡	雄7歳
					1990. 10. 21	檜山	上ノ国町	生け花用木採取	男	85歳	死亡	
					1990. 10. 29	紋別市	クマ狩猟	男	54歳	負傷		
H3	1	0	1	1	1991. 5. 12	檜山	上ノ国町	山菜採り	男	58歳	負傷	
H4	1	0	1	1	1992. 11. 17	網走	遠軽町	林内作業	男	54歳	負傷	3~4歳位
H5	1	0	1	1	1993. 10. 2	渡島	上磯町	狩猟	男	77歳	負傷	
H6	1	0	1	1	1995. 2. 13	網走	紋別市	林内作業	男	51歳	負傷	4~5歳位
H7	なし											
H8	1	0	1	1	1996. 6. 2	網走	紋別市	山菜採り	男	60歳	重傷	子連れ
H9	1	0	1	1	1997. 8. 24	網走	滝上町	クマ駆除	男	66歳	重傷	7歳
H10	2	0	2	2	1998. 11. 23	十勝	新得町	シカ狩猟	男	51歳	負傷	雌
					1998. 11. 23	釧路	白糠町	シカ狩猟	男	44歳	負傷	雄7~8歳
H11	4	1	5	6	1999. 5. 8	渡島	木古内町	川釣り	男	47歳	死亡	同一個体：雄2歳垂成獣
					1999. 5. 11	渡島	木古内町	山菜採り	女	39歳	負傷	
					1999. 10. 10	胆振	登別市	山菜採り	男	31歳	軽傷	当歳の可能性
					1999. 10. 31	釧路	音別町	クマ狩猟	男	64歳	重傷	雄3歳
					1999. 12. 19	網走	紋別市	クマ狩猟	男	58歳	軽傷	雄6歳
H12	2	1	1	2	2000. 11. 1	釧路	白糠町	シカ狩猟	男	60歳	重傷	雌4~5歳
					2000. 11. 12	日高	平取町	シカ狩猟	男	73歳	死亡	
H13	4	3	1	4	2001. 4. 18	釧路	白糠町	山菜採り	女	42歳	死亡	親子(推測)、逃走
					2001. 4. 30	留萌	遠別町	山菜採り	男	70歳	重傷	親子(仔明け2歳2頭)
					2001. 5. 7	石狩	札幌市	山菜採り	男	53歳	死亡	雄8~10歳
					2001. 5. 10	日高	門別町	クマ駆除	男	81歳	死亡	成獣
H14	1	0	1	1	2002. 8. 26	上川	南富良野町	被害畑点検	男	78歳	軽傷	成獣
H15	1	0	1	1	2003. 11. 14	胆振	苫小牧市	クマ駆除	男	64歳	軽傷	オス垂成獣の可能性
H16	1	0	2	2	2004. 11. 26	日高	新冠町	クマ駆除	男	67歳	重傷	雌6歳(仔1頭連れ)
					2004. 11. 26				男	65歳	軽傷	
H17	2	1	2	3	2005. 9. 24	釧路	白糠町	キノコ採り	男	74歳	死亡	親子
					2005. 10. 4	胆振	穂別町	狩猟中	男	58歳	重傷	雌
								男	71歳	軽傷		
H18	4	3	2	5	2006. 6. 16	日高	新ひだか町	山菜採り	男	53歳	死亡	不明
					2006. 10. 1	日高	浦河町	キノコ採り	男	78歳	重傷	体長150cm
					2006. 10. 14	釧路	浜中町	クマ狩猟	男	62歳	死亡	オス10歳程度
					2006. 10. 28	空知	新十津川町	キノコ採り	男	59歳	死亡	体重200kg
H19	3	0	3	3	2007. 8. 8	日高	様似町	クマ駆除	男	68歳	重傷	不明
					2007. 10. 4	渡島	北斗市	キノコ採り	男	60歳	軽傷	小型
					2007. 10. 13	上川	士別市	クマ駆除	男	52歳	重傷	不明
H20	3	3	0	3	2008. 4. 6	渡島	北斗市	山菜採り	男	50歳	死亡	オス3歳程度 体重70kg
					2008. 7. 30	渡島	松前町	クマ駆除	男	67歳	死亡	不明
					2008. 9. 18	根室	標津町	釣(魚採り)	男	58歳	死亡	オス捕獲
H21	2	0	2	2	2009. 9. 8	日高	新ひだか	クマ駆除	男	71歳	重傷	オス捕獲
					2009. 10. 30	留萌	苫前町	散歩	男	66歳	重傷	逃走
H22	3	2	1	3	2010. 5. 22	胆振	むかわ町	山菜採り	男	73歳	死亡	不明
					2010. 6. 5	十勝	帯広市	山菜採り	女	66歳	死亡	親子 逃走
					2010. 12. 5	上川	上川町	シカ狩猟中	男	60歳	重傷	オス捕獲
H23	2	1	2	3	2011. 4. 12	檜山	上ノ国町	山菜採り	男	63歳	死亡	不明
					2011. 8. 24	林-ツ	遠軽町	駆除	男	61歳	軽傷	メス6歳捕獲
								男	61歳	重傷		
H24	2	0	2	2	2012. 9. 30	渡島	八雲町	クマ駆除	男	73歳	軽傷	オス3歳 捕獲
					2012. 10. 27	十勝	足寄町	クマ狩猟	男	66歳	軽傷	
H25	4	1	3	4	2013. 4. 16	檜山	せたな町	山菜採り	女	52歳	死亡	
					2013. 4. 29	日高	新ひだか町	山菜採り	男	53歳	重傷	
					2013. 9. 24	渡島	函館市	山菜採り	男	63歳	軽傷	親子
					2013. 10. 14	渡島	福島町	シカ狩猟	男	58歳	重傷	その場で捕獲
H26	5	1	4	5	2014. 4. 4	檜山	せたな町	山菜採り	女	45歳	重傷	オス(H25. 4. 16と同一個体)
					2014. 9. 30	林-ツ	滝上町	散歩	男	76歳	重傷	
					2014. 10. 11	石狩	千歳市	キノコ採り	男	59歳	重傷	
					2015. 1. 26	釧路	標茶町	林内作業	男	64歳	死亡	
H27	なし											
H28	1	0	1	1	2016. 10. 6	釧路	厚岸町	林内作業	男	40歳	重傷	前掌幅約20cm

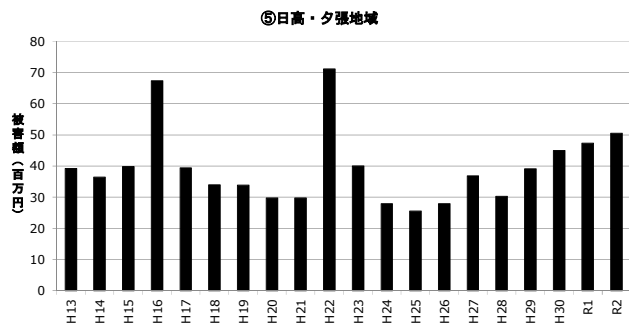
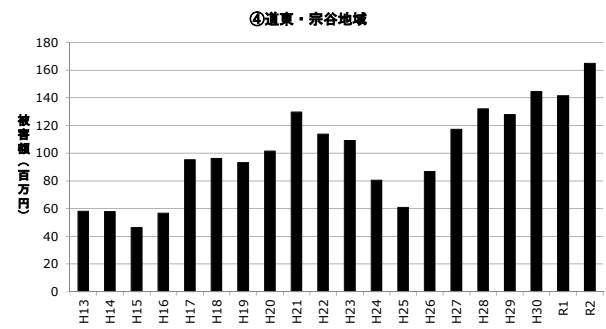
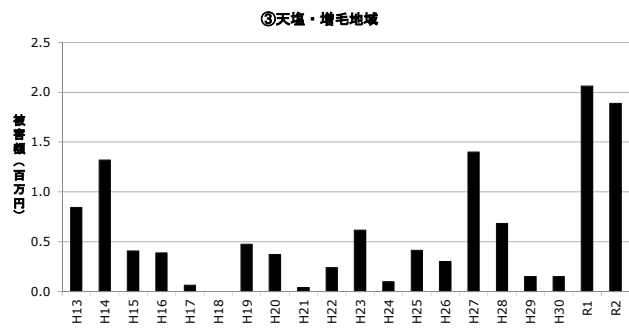
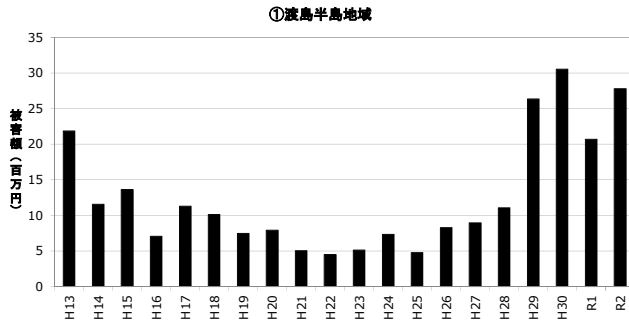
ヒグマによる人身事故(昭和37年以降)

年度	件数	死者	負傷者	死傷者	発生年月日	振興局	市町村	活動内容	性別	年齢	被害程度	加害個体
H29	4	1	3	4	2017. 4. 16	釧路	標茶町	山菜採り	男	54歳	重傷	親子
					2017. 10. 3	釧路	白糠町	キノコ採り	男	73歳	死亡	
					2017. 10. 6	釧路	白糠町	シカ狩猟	男	60歳	負傷	
					2017. 10. 9	林-ツ	斜里町	クマ駆除	男	70歳	負傷	
H30	3	0	3	3	2018. 4. 20	渡島	函館市	山菜採り	男	66歳	軽傷	親子
					2018. 4. 29	根室	中標津町	山菜採り	男	70歳	軽傷	親子(子2頭)
					2018. 10. 11	渡島	八雲町	キノコ採り	男	58歳	負傷	
H31	3	0	3	3	2019. 4. 16	林-ツ	斜里町	クマ駆除	男	74歳	負傷	
R1					2019. 7. 11	十勝	中札内村	登山	男	65歳	軽傷	高山の山頂付近
2019. 7. 29					十勝	中札内村	登山	男	47歳	軽傷	前と同一付近	
R2	3	1	2	3	2020. 5. 8	林-ツ	滝上町	山菜採り	男	62歳	軽傷	
					2020. 5. 15	後志	古平町	山菜採り	男	71歳	死亡	不明 ヒグマによる可能性が極めて高い
					2020. 8. 24	上川	士別市	クマ駆除	男	69歳	重傷	

件数	死者	負傷者	死傷者
137	53	97	150

活動内容	被害者数	割合
狩猟・駆除	60	40%
山菜・キノコ採り	39	26%
山林活動	20	13%
農作業	10	7%
登山	7	5%
川釣り	4	3%
その他	9	6%

地域個体群別農業被害額



単位：百万円

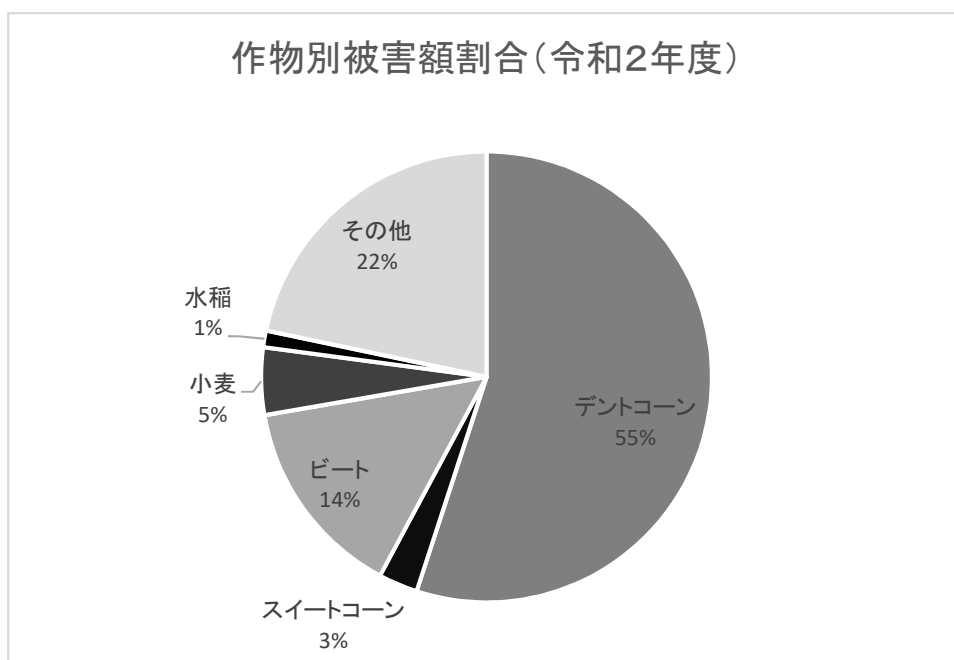
地域	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
① 渡島半島	22	12	14	7	11	10	7	8	5	5	5	7	5	8	9	11	26	31	21	27
② 積丹・恵庭	4	2	2	3	10	3	3	3	6	1	5	1	1	5	5	11	5	8	12	4
③ 天塩・増毛	0.8	1.3	0.4	0.4	0.1	0.0	0.5	0.4	0.0	0.2	0.6	0.1	0.4	0.3	1.4	0.7	0.2	0.1	2.1	1.9
④ 道東・宗谷	58	58	46	56	95	96	93	101	130	114	109	80	61	87	117	132	128	144	141	165
⑤ 日高・夕張	39	36	40	67	39	34	34	30	30	71	40	28	26	28	37	30	39	45	47	51

作物別被害額

単位:百万円

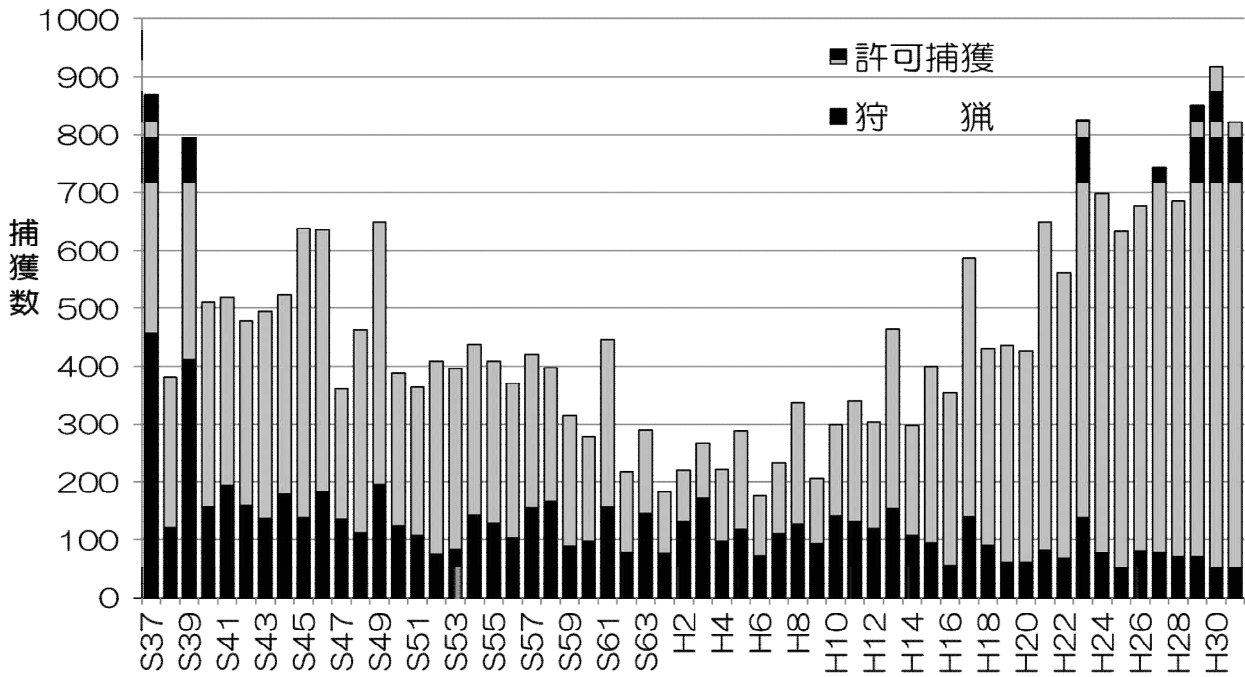
作物	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
デントコーン	61	61	49	64	68	77	63	75	78	78	62	49	48	77	97
スイートコーン	15	10	8	6	11	9	14	20	19	20	20	8	15	8	18
ビート	28	22	20	25	36	36	38	17	25	43	29	25	13	22	28
小麦	1	3	1	5	13	8	6	14	11	16	15	10	3	5	7
水稲	2	2	2	2	2	0	2	0	1	0	2	1	1	1	2
その他	18	11	22	33	26	13	14	16	36	33	32	24	13	14	17
合計	124	109	102	134	156	143	138	143	170	190	160	116	93	128	169

作物	H28	H29	H30	R1	R2
デントコーン	106	130	139	124	137
スイートコーン	12	8	16	11	7
ビート	31	26	30	32	36
小麦	10	7	10	12	12
水稲	2	4	4	4	3
その他	24	23	29	40	54
合計	185	198	228	223	249



ヒグマの捕獲数

資料 4



年 度	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54
狩 猟	458	121	411	157	194	160	137	179	138	184	136	112	196	123	109	74	84	142
(割合)	53%	32%	52%	31%	37%	33%	28%	34%	22%	29%	38%	24%	30%	32%	30%	18%	21%	32%
許可捕獲	410	260	383	354	325	319	357	344	500	451	225	351	453	265	255	335	312	295
計	868	381	794	511	519	479	494	523	638	635	361	463	649	388	364	409	396	437

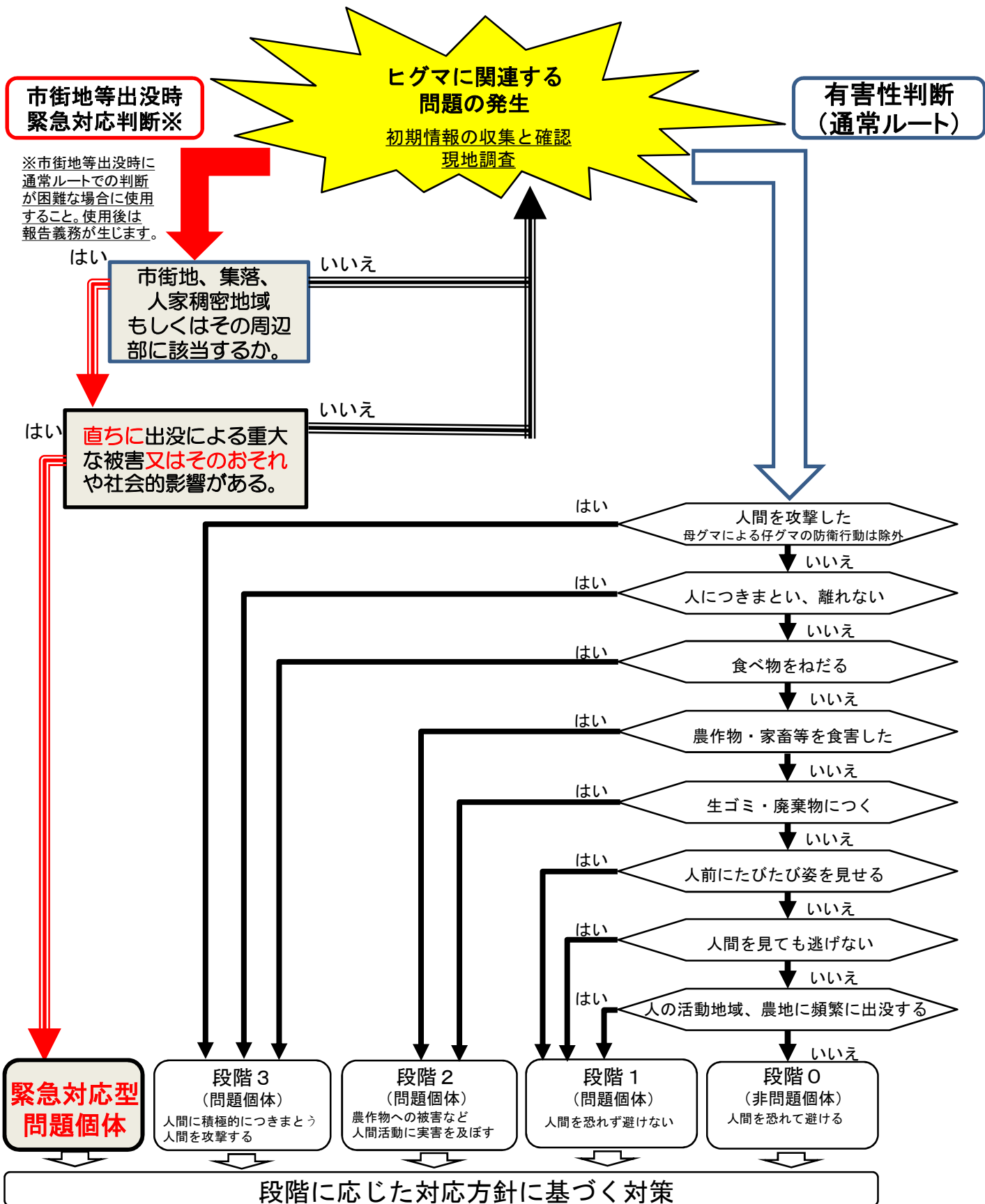
年 度	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
狩 猟	128	103	155	167	89	97	156	78	146	76	132	173	98	118	72	111	126	94
(割合)	31%	28%	37%	42%	28%	35%	35%	36%	51%	41%	60%	65%	44%	41%	41%	48%	38%	46%
許可捕獲	280	267	264	231	226	180	289	139	143	108	89	94	124	169	105	122	210	112
計	408	370	419	398	315	277	445	217	289	184	221	267	222	287	177	233	336	206

年 度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
狩 猟	141	132	119	154	109	95	55	140	91	61	61	82	68	138	77	51	81	78
(割合)	47%	39%	39%	33%	37%	24%	16%	24%	21%	14%	14%	13%	12%	17%	11%	8%	12%	11%
許可捕獲	158	207	184	310	189	306	299	447	339	375	365	567	493	688	622	581	596	660
計	299	339	303	464	298	401	354	587	430	436	426	649	561	826	699	632	677	738

年 度	H28	H29	H30	R1
狩 猟	70	70	39	31
(割合)	10%	8%	4%	4%
許可捕獲	615	781	879	791
計	685	851	918	822

ヒグマ出没時の有害性判断フロー

資料5

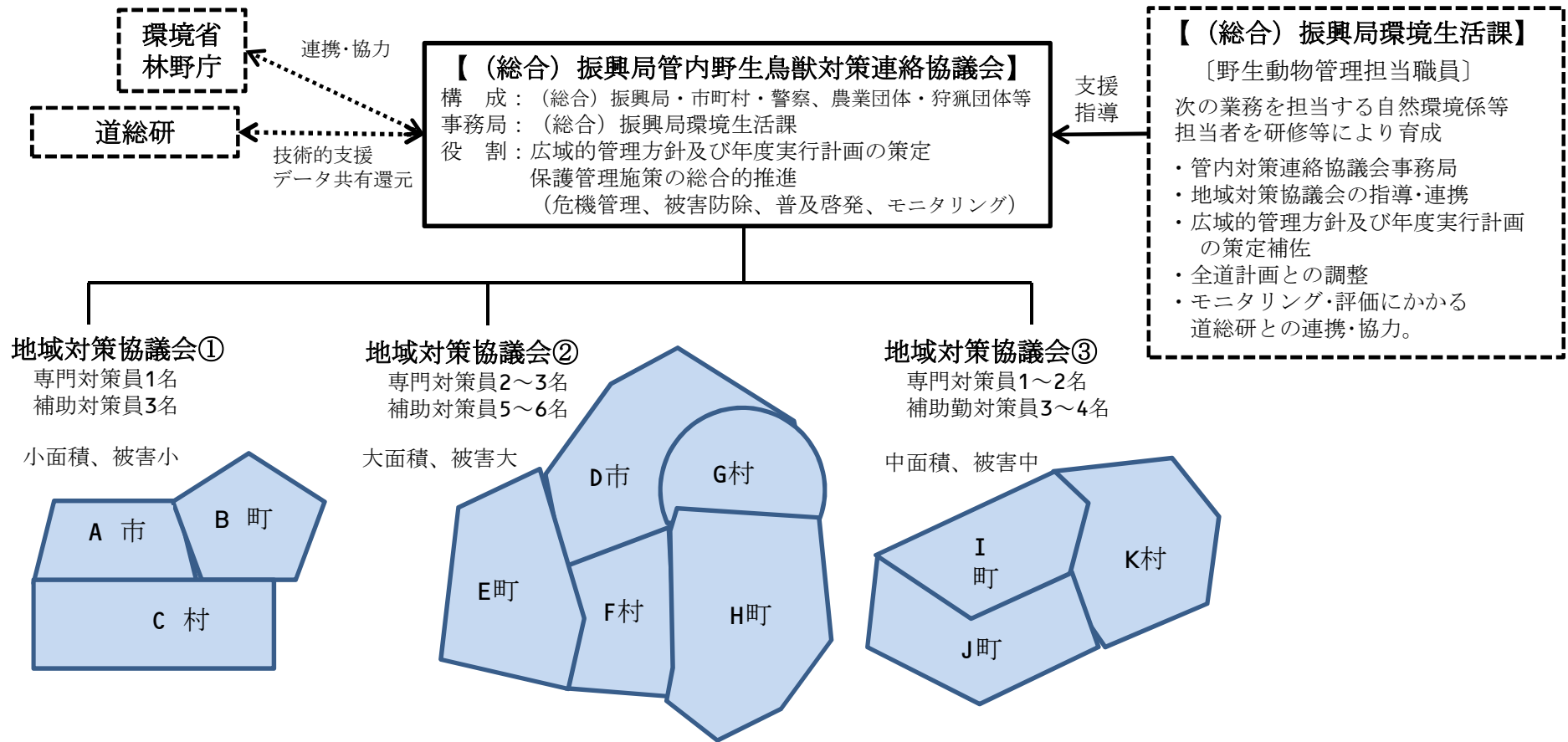


〔判断した段階に応じた対応方針〕

有害性判断	出没場所に応じた対応方針		
	市街地、集落、人家稠密地域も しくはその周辺部	農耕地	森林地帯
共通事項	○対応 出没、被害発生地域の区分 出没個体及び出没状況の情報収集（必要に応じて現地調査） 出没情報及び被害防止のための注意事項等の住民周知		
段階0 非問題個体	■行動形態：人間を恐れて避ける		
	○対応 ・経過観察 ・必要に応じ、関係機関への情報提供、人身被害防止措置、農業被害防止措置等 ※出没が継続する場合は「有害性判断フロー」に戻る		
段階1 問題個体	■行動形態：人間を恐れず避けない ・人家付近、農地に頻繁に出没する ・人間を見ても逃げない ・人前にたびたび姿を見せる		
	○対応 ・必要に応じ、人身被害防止措置、農業被害防止措置、追い払い等の対策の実施 ・出没が継続し、地域の生活や産業活動に支障のある場合は排除 ・対策を講じても出没が継続する場合は排除	○対応 ・必要に応じ、人身被害防止措置及び追い払いの実施 ・出没が継続し、産業活動（山林作業等）に支障のある場合は排除	
段階2 問題個体	■行動形態：農作物への被害など人間活動に実害を及ぼす ・生ごみ・廃棄物等につく ・農作物・家畜等を食害、破損した		
	○対応 ・必要に応じ、人身被害防止措置、農業被害防止措置、追い払い等の対策の実施 ・対象個体の確実な排除	○対応 ・必要に応じ、人身被害防止措置の実施 ・必要に応じ、入林規制措置 ・対象個体の確実な排除	
段階3 問題個体	■行動形態：人身（攻撃、つきまとい等）、生活への影響		
	○対応 ・人身被害防止措置の実施 ・地域の実情を踏まえた上で、可能な程度で追い払い等も検討。 ・（さらに）出没が繰り返され、地域住民の生命・財産、平穏な日常生活に支障が生じた、もしくは生じる恐れがあると判断した時点で対象個体の確実な排除	○対応 ・人身被害防止措置の実施 ・対象個体の確実な排除	○対応 ・人身被害防止措置の実施 ・入林規制措置 ・対象個体の排除 （※レジャー中の偶発的事故など、積極的な攻撃性が認められない場合などはこの限りではない）
緊急対応型 問題個体	○対応 段階3と同様 ※対応後に詳細報告義務あり		

	人身被害防止措置	農業被害防止措置
内容	<ul style="list-style-type: none"> 見回り 警察機関への連絡 地域住民、事業者、入林者等への周知（情報周知のための看板設置等） 誘引物の除去 状況に応じて対策本部等の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 見回り 誘引物の除去（農業系廃棄物の撤去、農作物の早期収穫等を含む） 電気柵の設置 敷地境界の草刈り

地域における危機管理体制の目指すべき姿（概念図）



【地域対策協議会】 ※ヒグマ生息状況及び社会的環境に基づく地域単位（複数市町村）に設置

構成：市町村、警察、農業団体、狩猟団体等
 専門員：専門対策員、補助対策員
 運営費：市町村支出金、特措法交付金等
 役割：地域野生鳥獣管理方針の策定
 地域の総合的ヒグマ対策の実行
 危機管理、被害防除、野生鳥獣個体数管理
 野生鳥獣等に関するモニタリング
 希少野生生物の保護 など

その他：NPO法人化による人員雇用の可能性を検討
 猟友会の状況により捕獲事業主体への移行を検討

【専門対策員】
 ・野生動物対策を指導し、地域の猟友会などと連携して現場業務にあたる者
 ・野生動物管理学・生態学の専門的教育を受けた者
 ・銃器・ワナなど野生動物に対応する技術の訓練を受けた者
 ・地域社会の中で受け入れられる社会常識を身に付け、コーディネーターとしての訓練を受け、地域社会の抱えるさまざまな問題解決に対する熱意を有する者

【補助対策員】
 ・ヒグマをはじめとする野生鳥獣捕獲に関する高度な技術と経験を有する者

年代別狩猟免許所持者数の推移

資料7

